

希少な血液疾患における研究について

(複雑な染色体異常に表面形質の変化を伴い Anaplastic Multiple myeloma へ移行した一例)

当院では血液疾患の患者さんを多数診療しています。その中で稀な疾患が存在しており、そのような場合には学会等での報告を行っています。

報告に使用するデータには名前や住所など患者さん個人を特定できる情報は含まれておりませんので、ご理解いただき、ご協力をお願いします。研究等にデータを使用されることを希望されない場合は拒否することも可能です。拒否された場合にも日常診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

【対象となる方】

血液疾患で当院に受診された方 (多発性骨髄腫)

【研究の背景】

多発性骨髄腫は経過中に形態学的変化を伴い、未分化型骨髄腫 (Anaplastic Multiple myeloma:AMM) へと進展することがあります。今回 BJP 型 MM と診断され、種々の多剤併用療法中に CD56 が消失し CD45 が陽性化することに伴って、AMM の病態へ移行した症例を経験しました。

【研究の目的】

本症例は病態的に稀であることと形態的にも大小不同を認め、好塩基性の細胞質を示し、核網繊細で核小体明瞭な細胞を認めました。また染色体検査においては t(11;14)の他に多数の染色体異常を伴っていました。通常であれば t(11;14)の染色体異常をもつ多発性骨髄腫は低～中リスクとされるが、予後不良であることも示唆された症例です。

今回の症例のような検査所見を公表することで、診断時に予後予測を行う上での解釈につながると考えられます。

【研究の方法】

本研究は、以下のスケジュールで実施します。

1. 実施期間及び登録期間

実施期間：倫理委員会承認日～2026年6月15日

研究対象期間：2017年4月17日～2019年11月12日に行われた骨髄検査検体

2. 研究方法及び手順

2.1 概要

症例については個人情報除外し、検査項目および結果を電子媒体に記録します。

2.2 観察項目及び収集する情報

骨髄スメアカウント情報、細胞形態情報、免疫染色情報の確認。

【データの管理】

研究責任者は診療録 (電子カルテ) から研究に必要な項目のみを電子情報として記録します。

【問い合わせ先】

島田市立総合医療センター

臨床検査室 原田 雅章

電話 0547-35-2111